

# でんでんむし



子育て支援センター（多久市児童センター内） 電話 0952-37-1117（みんないっしょにいいな）

## <6月を迎えました>

多久市児童センターの名称は「あじさい」、その中にある子育て支援センターの名称は「でんでんむし」。

初夏の雨に、水玉が輝く色鮮やかなあじさいの葉っぱの上に、幾匹ものでんでんむしが楽しく遊んでいる。そのような情景がたとえられそうな季節です。

今年は梅雨入りが早く、田植えまじかの田んぼにも、すでに水がたっぷり張りられています。苗代や夏野菜の芽が芽生えはじめ、いよいよ初夏の到来というところです。



## <子育てアドバイス(梅雨時期の生活)>

天気が変わりやすいこの季節は、湿度や温度が高く、体調を崩しやすい時期です。ジメジメして気温が不安定なこの時期の気候は、ただでさえ身体にこたえます。

大人も体調不良になりやすいということは、子どもはもっとなりやすいです。

この時期、いちばん怖いのは熱中症。食中毒も流行します。だから食生活への配慮も必要です。

稀に嘔吐・下痢になる可能性もありますので注意が必要です。また、お子様の食が進まないときは、プリンやゼリーなどを食べさせてあげてはいかがでしょうか。

ジメジメしたこの時期、普段から、お子さんの体調の変化には、十分気をつけてあげてください。



## <5月に行った行事を紹介します>

### ●子育てイベント「こどもの日」

5月5日(水)は「こどもの日」。昔は、男の子の健やかな成長や幸せを祈って、お祝いをする「端午の節句」と言われていましたが、昭和23年からこどもの健やかな成長を願う日と決められてから、「こどもの日」の名称になりました。

この日、パパ、ママ、みんなで「こいのぼり」と「兜」をつくって、子どもの成長を願いました。



### ●赤ちゃん広場

5月13日(木)、「赤ちゃん広場」を開催しました。

これから、赤ちゃん広場で計画してほしいイベントや聴きたいお話、子育ての悩みなど、みんなでお話をさせていただきました。



### ●子育て講演会

5月20日(木)、「子育て講演会」を開催しました。

講師に佐賀女子高等学校の吉木 知也 校長先生をお招きして、「未来に乾杯! ~子どもたちの幸せを願って~」という演題で、お話をさせていただきました。



お話では、子育ては、

- ① 人や兄弟同士で比べないこと
- ② 子どもは成長とともに変わっていくので、これを見守っていくこと
- ③ 子どもに積極的にかかわること
- ④ 子どもが興味をもったことには、認めてあげて賞賛すること

また、よりよい人生を送るために、「夢や目標をもたせる」ことや、「感動体験」をさせること。そのために、「親が“感動や夢を語る”ことも心に残りました。

会場の子どもたちのために、冒頭に“未来”を、最後に“乾杯”を熱唱していただき、感動に包まれました。



### ●はたけへGO!(収穫祭と苗植え)

半年前の冬に、「じゃがいも」と「たまねぎ」を花壇に植えました。お陰様で「じゃがいも」も「たまねぎ」も立派に実り、5月25日(火)から収穫の時期を迎えています。

また、じゃがいもの後には、5月29日(土)から、さつまいもの苗を植えています。それぞれに名前を付けて、1人1苗で育てていきます。たまねぎ収穫とも苗の育生は、6月上旬までは大丈夫のようです。



## 今月のメニュー



※全ての講座、イベントで託児を行っています。

○5月29日(土)~6月上旬まで

〔行事〕はたけへGO!(さつまいも植え)

○6月 3日(木) 10:30~ 第2回ママカフェ(中止)

○6月 9日(水) 10:30~ 子育て講演会

〔演題〕親子でいっしょにスタンプあそび  
~手ぬぐいづくり~

〔講師〕佐賀女子短期大学 准教授 大江登美子 先生

○6月10日(木) 14:30~ 食育相談会

〔講師〕佐賀女子短期大学 助手 西原 由紀 先生

○6月18日(金) 10:30~ お誕生日おめでとう